

浜銀総研 News Release



2015年9月28日

神奈川県内企業の来春の新卒採用計画

— 企業経営予測調査（2015年9月）特別調査結果 —

要 旨

【中堅・中小企業の新卒採用意欲が非製造業中心に高まる】

神奈川県内中堅・中小企業の新卒採用計画については、採用予定がないとする企業の割合が低下（前年調査：51.6%→本年調査：48.9%）する一方で、採用を予定する企業の割合は上昇（同：48.4%→51.1%）した。なお、採用を予定する企業の割合は2007年調査（52.4%）以来8年ぶりの高水準になった。

製造業・非製造業別にみると、採用を予定する企業の割合は、製造業では53.5%と前年調査（54.0%）からほぼ横ばいとなる一方、非製造業では49.6%と前年調査（45.2%）から大きく上昇した。

【新卒採用予定者数は「確保できない」との回答が増加】

採用予定者数の確保の見通しについては、「確保できない」（同：29.9%→36.7%）とする企業の割合が大きく上昇し、2007年調査（38.2%）以来の高い水準になった。来春の新卒採用は今春に比べて一段と困難になると予想されている。

【必要な雇用人員確保のための対応】

新卒採用以外の方法で必要な雇用人員を確保するための対応策としては、「中途採用の実施」（76.1%）が最も多く、「パート・アルバイト、派遣社員の採用」（46.2%）が続いた。「中途採用」をあげる企業の割合は上昇傾向が続く一方で、「パート等の採用」をあげる企業の割合は前年調査から低下した。

【本件についてのお問い合わせ先】
（株）浜銀総合研究所 調査部 新瀧健一
TEL. 045-225-2375（ダイヤルイン）

(新卒採用を予定する企業の割合)

神奈川県内の中堅・中小企業に2016年春の新卒採用計画について尋ねたところ、採用予定がないとする企業の割合が48.9%となり前年調査(2014年9月:51.6%)から低下する一方で、採用を予定する企業の割合は51.1%と前年調査(48.4%)から上昇した。なお、採用を予定する企業の割合(51.1%)は2007年調査(52.4%)以来8年ぶりの高い水準になった。

製造業・非製造業別にみると、採用を予定する企業の割合は、製造業で53.5%と前年調査(54.0%)に比べてほぼ横ばいとなる一方、非製造業では49.6%と前年調査(45.2%)から大きく上昇した。製造業では中国経済の成長鈍化などを背景に慎重な採用計画になったとみられる。一方、非製造業は業績の改善に伴う人手不足感の高まりを反映して採用意欲が旺盛になったと考えられる。

なお、採用予定のある企業に採用予定者数の増減を尋ねたところ、採用予定者数が「増加」と回答した企業の割合が21.2%と最も多く、「横ばい」が20.5%、「減少」が9.4%となった。なお、「増加」が「横ばい」を上回るのはリーマン・ショック後の採用抑制の反動が出た2010年調査以来5年ぶりのことである。

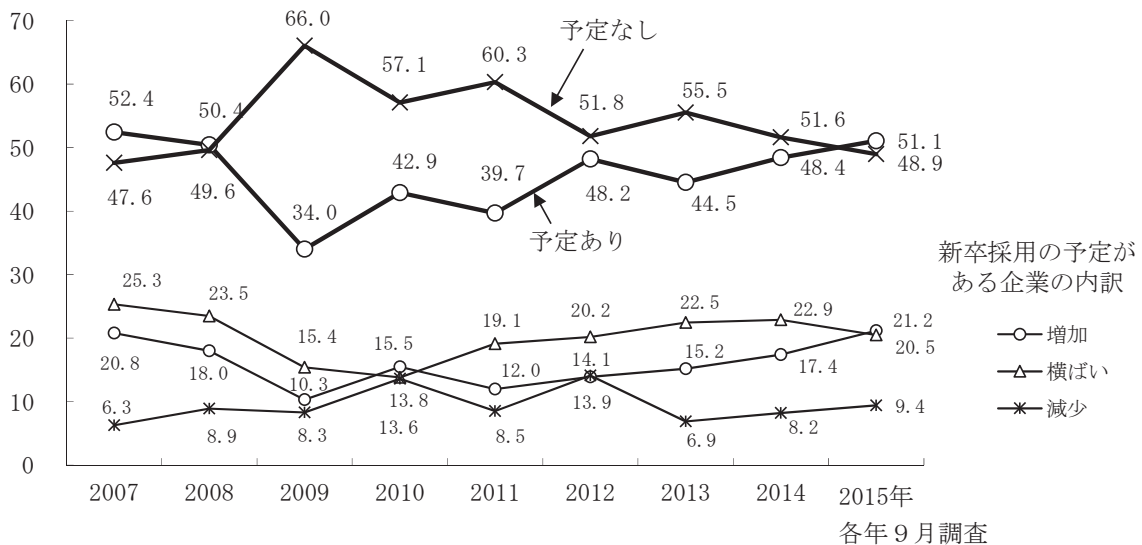
来春の卒業予定者の採用計画

(上段:回答社数、下段:回答社数構成比、%)

区分	採用予定あり				採用予定なし	回答社数計
	増加	横ばい	減少			
全産業	217 (51.1)	90 (21.2)	87 (20.5)	40 (9.4)	208 (48.9)	425
製造業	85 (53.5)	33 (20.8)	31 (19.5)	21 (13.2)	74 (46.5)	159
非製造業	132 (49.6)	57 (21.4)	56 (21.1)	19 (7.1)	134 (50.4)	266

回答社数
構成比、%

採用予定企業の割合(全産業)



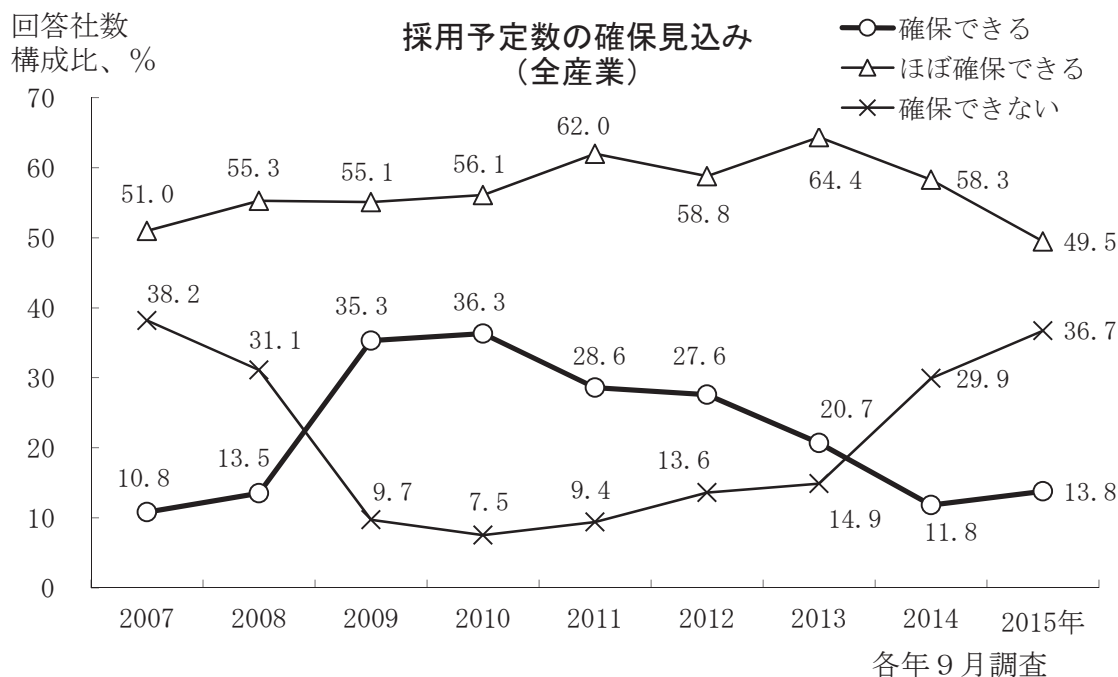
(新卒採用予定者数の確保見通し)

採用予定者数の確保の見通しについては、「確保できる」が13.8%となり前年調査の11.8%からわずかに上昇した一方、「ほぼ確保できる」は49.5%と前年調査(58.3%)から大きく低下した。なお、「確保できない」は36.7%となり、前年調査の29.9%から大幅に上昇し、2007年調査(38.2%)以来の高い水準になった。

来春卒業予定者の採用予定数の確保見込み

(上段：回答社数、下段：回答社数構成比、%)

区分	確保できる	ほぼ確保できる	確保できない	回答社数計
全産業	27 (13.8)	97 (49.5)	72 (36.7)	196
製造業	11 (15.1)	37 (50.7)	25 (34.2)	73
非製造業	16 (13.0)	60 (48.8)	47 (38.2)	123



(必要な雇用人員確保のための対応)

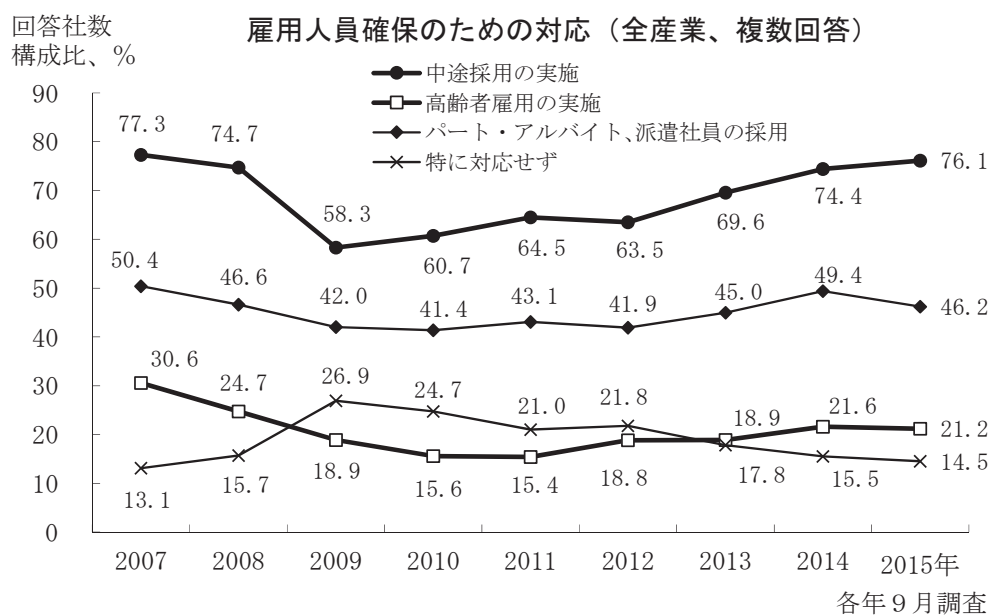
新卒採用以外の方法で必要な雇用人員を確保するための対応策を尋ねたところ(複数回答)、「中途採用の実施」と回答した企業が76.1%と最も多く、「パート・アルバイト、派遣社員の採用」が46.2%、「高齢者雇用の実施」が21.2%で続いた。

「中途採用の実施」と回答する企業の割合は上昇が続いており、2007年調査(77.3%)以来の高い水準となった。一方で、「パート・アルバイト、派遣社員の採用」は前年調査(49.4%)から低下した。

来春以降必要な雇用人員を確保するための対応 (複数回答)

(上段：回答社数、下段：回答社数構成比、%)

区分	中途採用の実施	高齢者雇用の実施	パート・アルバイト、派遣社員の採用	特に対応せず	回答社数計
全産業	341 (76.1)	95 (21.2)	207 (46.2)	65 (14.5)	448
製造業	128 (78.5)	33 (20.2)	89 (54.6)	19 (11.7)	163
非製造業	213 (74.7)	62 (21.8)	118 (41.4)	46 (16.1)	285



*本調査結果は、神奈川県内の中堅・中小企業に対して実施した企業経営予測調査(2015年9月)のなかで、特別調査として来春の新卒採用計画に関する質問を設け、その回答を集計したものである。(対象企業：神奈川県内の中堅・中小企業1,231社、回収率36.7%)

以上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。